

理事長基本方針

2017 年度理事長 大石 聡正

1961 年に豊岡青年会議所として地域の発展の為に設立され、昨年、創立 55 周年を迎えると同時に、創立 5 周年に姉妹締結された、大韓民国全州青年会議所との国際交流も 50 周年を迎え、これまで受け継がれてきた伝統と、積み重ねられた歴史に感謝と敬意を表します。

さらにこの記念すべき 55 周年の年に、第 49 回ブロック大会豊岡大会を主管させていただき最高の機会を得ました。この素晴らしい経験は、我々にとって未来に向い大きく飛翔することのできる、何事にも変え難い宝であると考えます。また、この経験を胸に我々の活動を継続し、新たな未来を切り開かなければなりません。

理想 ～輝かしい未来の追求～

本年度は、この言葉を理事長スローガンに掲げます。

人は最高の未来を見据えることで、目標に向かい全力を注ぐことができます。しかし、過去の経験や成功の概念が自らの活動の妨げとなり、変化を恐れ既存の概念にとらわれた活動に留まり、何も変革を起こさずにいれば、5 年後 10 年後の未来に我々の地域や取り巻く環境がどのようになってしまうのかは容易に想像することができます。常に輝かしい未来像を明確にし、目標を掲げ、人のため地域のために活動することこそ、地域にとって必要なことであり、青年会議所の使命であると考えます。

人の価値観は多種多様で、同じ目標に向かうことは大変困難です。しかし、強い信念を持ち、多くの活動を通し共感を得られたとき、自らの予想を遥かに超えた最高の未来がこの地域に、また、この地域を取り巻く人々に切り開かれると確信しています。

能動的な活動、世界の繁栄と平和に寄与すること、また指導者訓練を基調とした修練を明確な未来像を持たず、ただやみくもに行うだけでは、次代へ繋げる活動になってはいけません。輝かしい未来像を追求し、未来に向かって明確な目標を掲げて活動を行うことが、我々に求められる組織のあり方であると考えています。

一般社団法人豊岡青年会議所も 10 年前と比べると、メンバー数は 40 名以上減少しており、組織運営そのものが難しくなっています。このままでは、活動さえも行えない時代がすぐそこまで来ていると言っても過言ではありません。今こそ我々の活動に誇りを持ち、55 周年で得た経験をもって新たな一步を踏み出す時が来ました。

本年度は、以下の委員会構成と内容で活動に取り組みます。

総務委員会は、各委員会と連携を図り、持続可能な組織を考え、円滑な LOM 運営を行うことに努めます。また広報誌「絆」を発行し LOM の活動を広く発信するとともに、様々なメディアを通して地域へ発信します。

指導力開発委員会は、会員相互はもとより OB 諸兄との交流及び親睦の機会を通して会員開発を行うとともに会員意識の高揚に努め LOM の活性化を図ります。また上部組織、各種団体、各地青年会議所との交流の窓口となります。

国際都市開発委員会は、国際交流における市民の意識変革に努めます。また大韓民国全州青年会議所との交流を行い、60 周年に向けた交流の在り方について調査・研究します。

会員拡大特別委員会は、LOM にとって最重要課題である会員拡大をメンバー一丸となり積極的に取り組めるよう連携を図り、次代に繋がる拡大活動を行います。

2017 年度は、LOM の未来を掛けた年でもあります。このまま会員数が増えなければ、2018 年度は約 10 数名の組織で活動を行わなければなりません。明るい未来に向けたまちづくりを行うためにも、持続可能な組織を作り出すことが我々に課せられた責務であると考えます。

様々な課題を根底から考え直し、常に新たな視点で組織を導き出さなければ、我々の活動そのものを市民に伝播する事はできません。

輝かしい未来を思い描き、多くの機会の中で地域のリーダーとしての資質を高め、情熱をもって活動すれば、そこに共感する多くの同志が集い、未来をより良いものに変えていくことができます。

意なく必なく固なく我なし。

今こそ培った力を未来の為に発揮しよう。